

各教科の分析結果

国 語

1 得点分布及び小問ごとの正答率

表1 得点分布

得点	人数	
	人数	%
100	0	0.0
90～99	0	0.0
80～89	10	1.5
70～79	74	11.4
60～69	146	22.5
50～59	185	28.5
40～49	128	19.7
30～39	71	10.9
20～29	31	4.8
10～19	5	0.8
1～9	0	0.0
0	0	0.0

* 合格者の中から、無作為に抽出した650人(13.1%)の結果である。

* %の数値は、小数点第2位を四捨五入したものである。

表2 小問別正答率(%)

大問	小問	正答率
㊦	問一	㉠ 92.2
		㉡ 71.9
		㉢ 98.5
	問二	68.1
	問三	53.1
	問四	70.8
	問五	33.6
問六	73.4	
小計		62.0
㊧	問一	㉠ 84.8
		㉡ 96.5
		㉢ 75.9
	問二	85.5
	問三	24.6
	問四	48.8
	問五	6.2
問六	52.4	
小計		50.3
㊨	問一	53.5
	問二	① 47.0
		② 56.4
	問三	10.5
小計		38.4
㊩	問一	46.0
	問二	63.2
	問三	53.1
	問四	72.8
	問五	A 55.7
		B 62.9
問六	51.6	
小計		59.4

表3 大問別の正答率の経年比較

大問	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
㊦ 文学的文章	54.6	61.1	64.3	62.0	62.0
㊧ 説明的文章	57.0	59.6	64.4	52.9	50.3
㊨ 活用	52.2	59.8	44.5	67.6	38.4
㊩ 古典・韻文	71.7	60.8	51.5	45.4	59.4

平成22年度の㊨は融合(古典・表現)、㊩は言語事項。

2 分析結果の概要

表1 について、70点以上の人数は全体の12.9%で、昨年度に比べ減少した(昨年度21.1%)。40点未満の人数は全体の16.5%で、昨年度に比べ増加した(昨年度11.5%)。平均点を中心として、ほぼ正規分布となっている。

表2 について、正答率80%以上の問題数は5問で、基礎的・基本的な知識・理解を問う問題の正答率が高かった。正答率40%未満の問題数は4問で、思考力・判断力・表現力等を必要とする問題の正答率が低かった。

漢字の書き取りや読みの正答率は高かった(㊦の問一、㊧の問一)。また、口語文法に関する問題の正答率も高かった(㊦の問二)。

一方、文章の展開に即して内容を的確にとらえ、書いてまとめる問題や、文章の構成や展開をとらえる問題、文章や図表などから読み取った情報を生かして書く問題の正答率が低かった(㊦の問五、㊦の問三、問四、㊨の問二、問三)。また、文章の展開に即して抽象的な概念を表す語を抜き出す問題、古典に親しみ、既習内容である有名な古典の冒頭を朗読するための知識・理解を問う問題も、正答率が低かった(㊦の問五、㊩の問一)。

表3 について、㊩の古典とその鑑賞文を読み比べ、内容を的確にとらえる力等をみる問題の正答率は、昨年度より高かった。一方、㊧の説明的文章の内容を的確にとらえ、表現する力等をみる問題、㊨の情報を活用する力等をみる問題の正答率は、昨年度より低かった。

3 標準解答及び大問ごとのねらい



標準解答

問一	① いっせい ② 構 ③ むら
問二	ウ
問三	願いと興奮
問四	エ
問五	(例) キュウリー夫人に花火を見せられないことへの悔しさが高まっていただけに、ホタルの幼虫の動きが偶然花火のように見えたことを、奇跡のように感じ、うれしく思う気持ち。
問六	イ

ねらい

豊かな心を育てるという観点にも配慮し、文学的文章を素材として、文学的文章を読むための基礎力や登場人物の言動や心情を的確にとらえる力、読み取った内容を適切にまとめる力等をみる問題である。



標準解答

問一	① 優先 ② おのれ ③ 敬意
問二	ア
問三	(例) 自分は星くずから生まれた存在であり、宇宙探査によって、星や生命の起源を明らかにしたいと考えたから。
問四	エ
問五	楽観
問六	(例) 調査によると、困難を恐れずに挑戦してみたいと考える日本の高校生の割合は、アメリカの高校生に比べ、低い傾向にある。私は、吹奏楽部でとても難しい楽曲に挑戦し、納得のいく演奏ができたことで、大きな達成感を得た。現代に生きる私たちは、何をなすべきを考え、困難を恐れず、まだ見ぬ未来のために挑戦し続けるべきだ。

ねらい

幅広いものの見方や考え方を養い、視野を広げるといった観点にも配慮し、説明的文章を素材として、説明的文章を読むための基礎力や、文章の論理の展開や要旨を正しくとらえる力、読み取った内容を適切にまとめる力等をみる問題である。



標準解答

問一	イ
問二	A (例) おじいさんが今日も無事に暮らしている B (例) いつも気にかけている
問三	(例) わたし、知ってるよ。この花、あなたが飾ってくれたこと。

ねらい

様々な言語文化についての関心を深め、身近にあるすぐれた表現に学び、自己を向上させようとする態度を育てるといった観点にも配慮し、国語の授業で、中学生が身の回りの表現から学んだことを発表するという設定を通して、文章や図表などの資料から必要な情報を読み取りまとめる力、読み取った情報を基に自分の言葉で表現する力等をみる問題である。

四

標準解答

問一	細（ほそ）くたなびきたる	
問二	早朝	
問三	（例）月が明るく輝きを増す	
問四	2	
問五	古文A ウ	漢詩B ア
問六	秋	

ねらい

魅力ある様々な古典作品や鑑賞文を読み味わい、古典の世界に親しむ態度を育てるという観点にも配慮し、古文、漢詩とその鑑賞文などの素材を通して、古典を読むための基礎力や興味・関心をみるとともに、複数の文章を読み比べ、内容を理解し、まとめる力等をみる問題である。書写に関して、行書で正しく書く力もみている。

4 小問ごとの内容及びねらい

大問	小問	内容	出題のねらい	出題形式			評価の観点			
				記号 選択	抜出	記述	話すこと 聞くこと	書く こと	読む こと	知識 理解
㊦	一	文 学 的 文 章	漢字を正しく読み書きすることができる。							
	二		文章の展開に即して副詞の意味をとらえることができる。							
	三		文章の展開に即して登場人物の心情をとらえることができる。							
	四		文章の展開に即して登場人物の言動や心情をとらえることができる。							
	五		文章の展開に即して登場人物の心情とその理由をとらえ、まとめることができる。							
	六		文章表現の特徴やその効果をとらえることができる。							
㊧	一	説 明 的 文 章	漢字を正しく読み書きすることができる。							
	二		助詞の意味・用法をとらえることができる。							
	三		文章の展開に即して内容を的確にとらえ、まとめることができる。							
	四		文章の展開に即して表現の意図をとらえることができる。							
	五		文章の展開に即して内容を的確にとらえることができる。							
	六		文章の趣旨を的確にとらえ、情報を生かして自分の意見を書くことができる。							
㊨	一	活 用	話す内容の構成や展開に即してその工夫と効果をとらえることができる。							
	二		情報を正しく読み取り、書いてまとめることができる。							
	三		複数の情報を関連付け、条件を踏まえて書くことができる。							
㊩	一	古 典	古典に親しみ、有名な古典の冒頭を正しく朗読することができる。							
	二		複数の文章を読み比べ、語句の意味を正しくとらえることができる。							
	三		文章の展開に即して内容を的確にとらえ、書いてまとめることができる。							
	四		複数の文章を読み比べ、説明するために効果的な内容をとらえることができる。							
	五		複数の文章を読み比べ、共通する内容をとらえることができる。							
	六		行書のきまりに従って漢字を正しく書くことができる。							